

かたぎしとらまい  
釜石虎舞 片岸虎舞

指定種別：市指定文化財  
指 定 日：平成 10 年 7 月 30 日  
所 在 地：釜石市片岸町  
保持団体：片岸虎舞保存会  
開 始：文化年間(1804～1818 年)頃  
公開機会：釜石市郷土芸能祭、  
虎舞フェスティバル等



片岸虎舞は、江戸時代中期、近松門左衛門の人形浄瑠璃に端を発し、江戸歌舞伎で上演された「国姓爺合戦」の劇中「千里ガ竹」の場に、和藤内の虎退治の場面がありますが、それを風流舞の「虎踊り」とされたものが「虎舞」となると伝えられています。虎の勢いのよい仕種とテンポの速い囃子、虎の勇壮な舞が特徴です。



片岸虎舞は、約 200 年前に始められたといわれているが確証はありません。しかし、片岸に伝わる大太鼓の銘書には文化年間の記銘があり、江戸時代後期からすでに舞われていたことが知られています。

